



うきはでトライ！ルリーロ福岡通信 LeRIRO FUKUOKA NEWS



うきはブランド推進課 ラグビータウンプロジェクト推進係 ☎ 76 - 9095

2025.2

リーグワン開幕戦～新たな歴史の第一歩

ルリーロ福岡のジャパンラグビー リーグワン開幕戦が、12月22日（日曜日）に久留米総合スポーツセンター陸上競技場にて開催されました。約2,500人ものファンの声援に背中を押され、シーズンをスタートさせたルリーロ福岡。今回は、ジャパンラグビー リーグワンのルリーロ福岡担当記者である柚野さんの開幕戦レポートをご紹介します！

リーグワンに「ただいま」。そして、努力が報われる日を信じて

リーグワン新規参入クラブ同士の対戦は、ヤクルトレビズ戸田に軍配が上がった。ルリーロ福岡は17対25で惜敗し、初勝利こそ逃したものの、2,418人のファンの声援に背中を押され、新たな歴史の第一歩を踏み出した。

後半37分、10対25の厳しい状況下で訪れた見せ場。ルリーロ福岡の八文字雅和選手は途中出場の元日本代表カーン・ヘスケス選手からパスを受け、右隅へ鮮やかなトライを決めた。練習どおりではなかったものの、「みんなが走ってつないだ結果、形にすることができた」と、チーム全体への感謝を口にした。



かつてコカ・コーラレッドスパークスでトップリーグに出場し、その後宗像サニックスブルースに



移籍した八文字選手。同チームの活動休止を受けてルリーロ福岡に加入した彼にとって、この試合は特別な意味を持つ。「リーグワンに戻った大事な一戦。『ただいま』という気持ちだった」と振り返り、深い感慨に浸る姿が印象的だった。

この試合は、地域リーグからスタートしたチームにとって歴史的な一戦でもあった。「2年前にゼロからスタートし、この舞台に立てたことが本当にうれしい」と話し、短期間での準備の中で浮き彫りになった課題も受け止め、さらなる成長を誓った。

ルリーロ福岡の成長を支える地域の声援は、選手たちにとって大きな力となっている。「こんなにも多くの方々が応援に来てくれたことが本当にうれしい」と八文字選手。地域の期待に応えるべく、「環境に恵まれたチームに負けない。自分たちの努力が報われると信じている」と力を込める。

次戦では、さらに一段階成長したチームと、八文字選手の新たな活躍に注目が集まるだろう。

ファンへの感謝を胸に力強く言葉を締めくくった。「次こそは勝利を届けられるよう、一生懸命頑張ります」。

柚野真也／スポーツライター

大分市出身のスポーツライターで、様々なスポーツを幅広く取材する。一般社団法人日本スポーツプレス所属。



うきは市
ホームページ



うきは市 LINE